

2022年5月期 第3四半期 決算概要

- **売上高 270,875 百万円（前年同期比 +10.7%）**
 売上高は前年同期から回復し堅調に推移。企業及びパブリックセクターからは BPO の需要を継続的に獲得。エキスパートサービス及びキャリアソリューションにおいても回復する人材需要を獲得。
- **営業利益 17,348 百万円（同 +19.5%）**
 販管費は事業拡大により増加。前期に続き同四半期もコロナ禍でダメージを受けていた事業が回復基調にあることから営業利益も改善。

1. 第3四半期連結業績（2021年6月1日～2022年2月28日）

（百万円）

	2021年5月期3Q	2022年5月期3Q	増減	増減率
売上高	244,670	270,875	+26,205	+10.7%
売上総利益 (売上比)	61,029 24.9%	66,038 24.4%	+5,008 △0.5pt	+8.2%
販売費及び一般管理費 (売上比)	46,517 19.0%	48,690 18.0%	+2,173 △1.0pt	+4.7%
営業利益 (売上比)	14,512 5.9%	17,348 6.4%	+2,835 +0.5pt	+19.5%
経常利益 (売上比)	14,622 6.0%	17,760 6.6%	+3,138 +0.6pt	+21.5%
親会社株主に帰属する当期純利益 (売上比)	5,582 2.3%	7,314 2.7%	+1,731 +0.4pt	+31.0%

2. セグメント別連結業績（セグメント間取引消去前）

（百万円）

	売上高	前年同期比		営業利益	前年同期比	
エキスパートサービス（人材派遣）	114,102	+2,917	+2.6%	13,818	+480	+3.6%
BPO サービス（委託・請負）	102,518	+20,116	+24.4%			
HR コンサルティング、教育・研修、その他	6,256	+524	+9.2%			
グローバルソーシング（海外人材サービス）	6,145	+1,082	+21.4%	257	+224	+682.3%
キャリアソリューション（人材紹介、再就職支援）	11,021	+1,648	+17.6%	3,358	+1,157	+52.6%
アウトソーシング	27,065	△11	△0.0%	9,533	+2,614	+37.8%
ライフソリューション	5,262	+379	+7.8%	177	△46	△20.9%
地方創生ソリューション	3,291	+1,118	+51.4%	△1,702	△146	-
消去又は全社	△4,788	△1,570	-	△8,094	△1,447	-
合計	270,875	+26,205	+10.7%	17,348	+2,835	+19.5%

* 前連結会計年度末より、子会社再編に伴い、一部子会社のセグメント区分を変更しています。前期比については、前連結会計年度の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値と比較しています。

主要セグメントの増減理由

エキスパートサービス	人材需要は前期末から幅広い業種で緩やかに回復。企業及びパブリックセクターからはコロナ対策の関連業務など、オフィスワーク以外の期間限定の人材需要も高まる。
BPOサービス	企業及びパブリックセクターからの多様な需要に対して、グループ一括で受託できる強みを活かし事業が拡大。民間企業では、事業環境にあわせた組織構造改革や DX 推進に関連した需要が増加。
キャリアソリューション	人材紹介事業では、事業環境が感染拡大前の水準まで回復。再就職支援事業では、大規模な事業構造の見直しは落ち着き、需要は収まりつつある。
アウトソーシング	新たな健康支援サービスの展開などにより業績は順調に推移。福利厚生事業は緊急事態宣言明けの10月以降にサービス利用が伸び補助金支出が増加。ヘルスケア事業が利益押し上げに貢献。
地方創生	緊急事態宣言明けから、観光地への人流が少しずつ戻り始める。淡路島では、地産地消の料理を提供するレストランや農業体験などの自然との共存を学べる畑の中のレストランをオープン。

3. 財政・投資の状況

●財政の状況

(百万円)

	2022年5月期 3Q末	前期末比		主な増減要因
		増減	増減率	
流動資産	104,671	△4,190	△3.8%	【受取手形、売掛金 及び契約資産】 受託案件の増加に伴い増加 【有形固定資産】 【のれん】 地方創生事業等の資産増加 ベネフィット・ワンの JTB ベネ フィット買収に伴い増加
固定資産	62,661	+20,050	+47.1%	
資産合計	167,487	+15,846	+10.4%	
流動負債	65,249	△5,526	△7.8%	【長期借入金】 【買掛金】 【賞与引当金】 資金調達により増加 支払が進んだことにより減少 賞与の支払により減少
固定負債	44,169	+13,083	+42.1%	
負債合計	109,419	+7,557	+7.4%	
純資産合計	58,068	+8,289	+16.7%	【自己資本比率】 受託案件に係る「預り金」を 控除した場合は 27.0%
自己資本比率	26.8%	+1.6pt	—	

4. 2022年5月期（2021年6月1日～2022年5月31日）連結業績予想

当第3四半期の業績は概ね計画通りに推移していることから、通期業績予想につきましては2022年1月14日に公表した2022年5月期の通期連結業績予想を据え置きます。

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
2022年5月期 業績予想	368,000	22,000	22,000	8,500
2021年5月期 実績	334,540	19,940	20,379	6,784
前期比増減率	+10.0%	+10.3%	+7.9%	+25.3%

四半期ごとの連結業績及びセグメント別業績データは <https://www.pasonagroup.co.jp/ir/data/quarter.html> に掲載します。

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。